

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172900672		
法人名	東光ヘルパーステーション 有限会社		
事業所名	グループホーム みのり		
所在地	北海道旭川市永山3条18丁目1-5 (電話) 0166-48-2123		
評価機関名	タンジエント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年10月26日	評価確定日	平成19年11月6日

## 【情報提供票より】(平成19年10月11日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年7月6日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	28人	常勤	13人, 非常勤 13人, 常勤換算 14.6人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての ~ 2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	一人部屋 27,000円 夫婦部屋 40,000円	その他の経費(月額)	10,000円	
敷金	(有)X(家賃の1ヶ月分) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	450円	昼食	450円
	夕食	450円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	5名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	3名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 81歳	最低	62歳	最高	97歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	都丸内科クリニック クリア歯科クリニック
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

SOSネットワークや交番との連携、緊急時に速やかに対応が出来る職員の体制が整備されたり、5回目を迎える「みのり祭」には町内会の人達や家族、福祉専門学校生徒のボランティアが参加するなど地域のイベントとなり、地元の人々との連携がとれているグループホームです。また、ヒヤリ、ハットで未だ起きていない事故に対するデータ収集で事故の未然防止に努めている。広い敷地へ繋がるベランダには、ウッドデッキも配置され食事や日光浴を楽しめたり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されている。管理者・職員は、利用者・家族の話に良く耳を傾け意見や不満、要望など言いやすい雰囲気作り心掛け、それらを運営に反映しています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、洗剤の管理方法について改善点が挙げられていましたが、薬や洗剤、刃物等の注意の必要な物品の管理について、保管場所、保管方法が明確に決められ実践されていることが確認されました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は、自己評価及び外部評価の意義を良く理解しており、自己評価では職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。さらに外部評価の結果については、改善の機会として位置づけて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在1回実施されています。議題は運営推進会議(地域密着型サービスについて)利用者の状況(基本方針と日々の業務について)みのり祭の開催について質疑・応答次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	「みのり便り」を2ヶ月に一度発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、感染症についてのお願ひなど日頃よりホームの取り組みを家族に報告して意見や不安、苦情などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、金銭出納や職員の異動等についても個々の家族に報告され信頼関係を構築しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	「みのり祭」が町内のイベントとなるくらい町内会や家族など地域の人達との交流が図られています。また、散歩や買い物、福祉専門学校生の実習の積極的な受入れ、「みのり便り」の発行や運営推進会議、消防署や交番との連携など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念を職員は常に携帯して、地域の中で利用者がその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、運営理念を達成するために具体的な基本方針を掲げ、理念を達成するために定例会議や主任会議で話し合われている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	「みのり祭」が町内のイベントとなるくらい町内会や家族など地域の人達との交流が図られています。また、町内会に加入して地元の人々との交流がされています。		散歩や買い物、福祉専門学校生の実習の積極的な受入れ、「みのり便り」の発行や消防署、交番との連携など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。今後は、家族会の結成も検討されています。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、自己評価及び外部評価の意義を良く理解しており、自己評価では職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。さらに外部評価の結果については、改善の機会として位置づけて取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在1回開催されている。メンバーは家族、地域の住民代表(町内会役員)、他事業所の有識者、法人役員及び管理者・職員で構成され具体的に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、運営の実態に即した第2回目の運営推進会議を早急に開催できるように検討されている。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者との連携の重要性を理解しています。また、消防署の協力を得て地域住民に呼びかけてAED使用の講習会をホームで実施しています。</p>		<p>今後は、包括支援センターや市との連携をさらに深めてグループホームでの講習会など地域住民にも呼びかけて開催できるように計画がされている。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「みのり便り」を2ヶ月に一度発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、感染症についてのお願ひなど日頃よりホームの取り組みを家族に報告して意見や不安、苦情などが言いやすい雰囲気づくりをしています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時に管理者・職員は、よく耳を傾け気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>共用空間で職員の名前を掲示するなど家族や来訪者に情報提供をしている。また、運営者・管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修参加を積極的に奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、朝礼でワンポイントレッスンの実施や送りなどで職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や包括支援センターの交流会に参加したり、他施設とネットワークを構築して情報交換するなどケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して納得した上でサービスが利用できるように入居前には、利用者・家族の不安を解消する取り組みや、職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、センター方式を利用して利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴を家族の協力を得ながら把握して本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式で利用者一人ひとりの思いを職員間で共有して、散歩や買い物、ドライブなど積極的に外出の機会を多く作ったり、集会や同窓会参加などのへの支援を本人の希望や意向を尊重して取り組まれている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、センター方式を元に作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報やカンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や入退院のあとなど利用者の状態や変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、集会や同窓会参加の為の送迎など時々々の要望にも対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員や訪問看護師、利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については、できるだけ早い段階から医師・看護師と連携して利用者・家族とも繰り返し相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有できる取り組みがされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけでの支援に取り組まれています。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式の「24時間アセスメントシート」で個々の利用者のペースが職員間で共有されている。また、利用者一人ひとりの思いを尊重して散歩やスーパーやコンビニでの買い物、入浴、畑作業など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	専門の調理職員が利用者個々の好みを把握しながら食事が楽しみになるように支援している。また、職員との会話や食後の後片付けをしたり和やかな雰囲気醸し出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ユニット毎の浴槽の他に大浴場があり、利用者の希望に応じてゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、折り紙や畑作業、食事の後片付け、散歩や買い物で金銭を使う場面を見出したり、白鳥見物や動物園見学、紅葉狩りなど気分転換のために外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	白鳥見物や動物園見学、近隣への散歩、スーパーやコンビニでの買い物など気分転換や心身のリフレッシュができるように職員の行事担当が様々な企画を立案して、積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されています。</p>		<p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分補給を重要視して、職員の水分担当が意識して取り組んでいます。また、具体的な食事摂取量が記録され、栄養バランスや摂取カロリーについてもおおよそ把握され、栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されています。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間では、気になる臭いや音の大きさは感じられない。また、居間には利用者が集い和やかで家庭的雰囲気が感じられた。広い敷地に出られるベランダには、ウッドデッキがあり戸外での食事や日光浴を楽しんだり、利用者同士談笑できるスペースが確保され気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、使い慣れた家具や家族の写真が飾られたり、趣味の手作りの作品などが飾られ利用者一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。